

PORRENTRUUY

ポラントリュイ

13世紀、ハプスブルグ家出身神聖ローマ皇帝ルドルフ1世によって町に昇格したポラントリュイは、バーゼル大司教の居住地となった。大司教の一人であるヴァルテンゼー出身のジャック・クリストフ・ブラレー（在任期間：1575-1608）は、司教区の再興者と呼ばれ、火事で破壊された城を再建し、イエズス会コレージュを創設した。コレージュは程なくして名声を得るようになり、現在は州立高校となっている。18世紀、町は、市庁舎、中央市場、病院、グレレスの館といった素晴らしい建物が建造され、美しさを増した。

1 Hôtel-Dieu / Jura Tourisme

旧病院 / ジュラ観光局

1761年、有産階級者が町の中央に所有していた「ラ・コートイン」（La Courtine）と呼ばれる土地に、バーゼル司教の宮廷付き建築家ピエール・フランソワ・パリによって建てられた。病院としては1956年まで機能していた。1983年より旧病院はポラントリュイ市の所有となり、1987年から1996年まで修復が続けられた。内部には、1998年にオープンした同名の博物館と19世紀半ばの薬局がある。



2 Fontaine de la Samaritaine

サマリア人の泉

教会通り（rue de l'Eglise）と大通り（Grand-rue）の角地に位置するサマリア人の泉は、1564年にクレシエーのロラン・ペルーによって造られた。キリストとサマリア人女性が井戸の縁石に肘をついて向かい合う。柱にはエンタブレチュア*が載り、その上には子供の姿をした洗礼者ヨハネが十字架と町の紋章入りの盾を持って立っている。町で二番目にできた記念碑的泉。

*柱頭から軒上端までの間の部分



Eglise Saint-Pierre et remparts

サン・ピエール教会と城壁

1321年から1333年の間に建設された。14世紀末に側面の礼拝堂が増設され、北部分が拡張された。窓は1583年製のゴシック式で、正面扉は1924年製のネオ・ゴシック式である。1978年から1982年にかけて修復が行われた際、初期の建築物が発見された。内陣のステンドグラスはジュラ出身芸術家ジャン・フランソワ・コモン作である。教会の後ろ側にある城壁は、町の東側に臨む美しい見晴らし台を支えている。その右手の角には木骨壁構造の小さな翼館がある。



Cure catholique

カトリック司祭館

18世紀建造。ライナッハ家の館で、後にビュ一家の所有となった。1971年から1973年にかけて改築。建物を囲む塀はルイ16世様式の錬鉄の門によって閉じられる。家屋の入口の門はビュ一家とターディ家の紋章を掲げている。



Juventuti

ジュベントゥティ

1859年設立の学校。建物はネオ・クラシック式特徴を残している。建築術的・歴史的に価値があり、共和制ジュラ州の文化遺産目録に登録されている。1995年改築。



Collège des Jésuites

イエズス会コレージュ

1591年にヴァルテンゼー出身のジャック・クリストフ・ブラレーによって創設され、現在は州立高校である。元々の施設は東から西にかけて、イエズス教会、本部、神学校となっていた。本部と旧神学校の建物は、1935年～1938年のアーケード建築によって繋がった。16世紀末と17世紀初頭の建物はウルム出身の建築家ニコラ・フリックによるものである。全体の改築は1974年～1976年。



A Tour du Séminaire



セミネー（神学校）塔
塔は旧神学校の南西の角に位置しており、1614年、最後の防御工事によって成された城塞の一部である。

B Pendule de Foucault

フーコーの振り子

旧神学校の中庭に植物園がある。その入口にある振り子は、教育機関設立400年を記念して、ソロトゥルン出身の技術者ヘルベルト・クリーにより製作された。振り子は地球が自転していることを証明している。



C Jardin botanique



植物園

植物園はジュラ自然科学博物館の一部で、約200年の歴史がある。素晴らしい環境の中で数多くの植物相が見られ、ジュラの植物を紹介するコーナーもある。6月には約180種ものあやめの花が3週間咲く。

D Serres du jardin botanique

植物園の温室

1961年に設置された温室は、熱帯植物、食虫植物、蘭、そして取り分け重要なコレクションである500~600種のサボテンを所有する。州立高校生の植物相学習に貢献し、人々の美しい憩いの場をも提供している。



E Musée jurassien des sciences naturelles



ジュラ自然科学博物館

博物館は、「ビッグバン」からヒトの誕生までの宇宙の長い歴史を語る。物質の歴史を紹介する階と、生物の進化をたどる階がある。二つのテーマ別展示室では地方の自然と国の動物相について説明している。



Temple réformé

改革派教会

旧アノンシアド会修道院跡に、1890年から1891年にかけて建てられたネオ・ゴシック式の教会。1936年に一部改築。ガラススタイルのステンドグラスはコンクリートで支えられており、オーギュスト・ラブレとアンリ・ヴェルメイユの作品。（1937年製）1982年、1983年改築。

Venelle

小路

旧市街、アノンシアド通り（rue des Annonciades）と大通りを結ぶ路地。



Fontaine de la Ronde Boule dorée



黄金玉の泉

19世紀末に取り壊されたが、1991年、復元されることとなった。原型の柱身は修復。新しく台と上部飾りの玉が作られ、水槽も一新された。ポラントリュイ最後の記念碑的泉は、こうして元の場所・アノンシアド通りに復活を遂げた。

Hôtel de Gléresse

グレスの館

三階建ての館はジョバンニ・ガスパール・バグナートの設計で、1750年頃建設された。この館は、当時の大司教が、自分の妹・バルデンシュタイン出身のマデレーン・リンクと婚姻したグレスのコンラッドに贈ったものである。偏円形アーチの正面扉は化粧漆喰が施されたアーチ型天井のロビーに続く。階段の欄干は錬鉄できており、紋章入りである。1961年から1963年にかけて修復。



7

8

9

10

11

Fontaine du Banneret ou du Bannelier

バナレット騎士の泉

1558年に町で最初の記念碑的泉として建造。サマリア人の泉同様、クレシエーのロラン・ペルーの作品である。柱身上の像は1814年に破壊され、1913年になって現在の兵士像に置き換えられた。像はストラスプールのペーター・ホイヒ作である。騎士の足元にはポラントリュイの町の紋章、猪がいる。



Tour du Coq

雄鶏塔

城の北東に寄せて建てられた重量感のある丸い石組みの建物で、四階建て。中央の柱は丸天井を支えている。1756年に窓が開けられた。1898年までバーゼル司教区の古文書が保管されていた。町側にヴァルテンゼー出身のブラレーの紋章が描かれている。1960年、修復。

12

Cour aux moines

anciennement maison de l'abbaye de Lucelle

「修道士の前庭」と旧・ルセル大修道院の館
建物も土地もルセル(Lucelle)にあるシトー会の所有だった。



Château

城

現在は修復され、州の司法機関が入っている。最初の石造りの城は13世紀に建設された。堂々たる建造物は数世紀を経てルネッサンス様式の印象深い建物へと拡張した。18世紀初頭にはレゲンス様式の「サクスのクリスティン王女（フランス王ルイ16世のおば）のパビリオン」が新たに建築された。



13

Maison Zaugg - anciennement Turberg

ツォーグの家（旧・トゥルベルグの家）

現在、ミッシェル&レミー・ツォーグ財団。
1569年建築、有産階級者の美しい建物で、多角形の小塔の中に階段がある。有名なバーゼルの建築家、ヘルツォクとモイロンによって修復された。



Tour Réfous

レフュ塔

城で最も古い建築物。現在は独立して建っており、レフュ塔と呼ばれる。塔自体は13世紀半ば頃に建設され、銃眼部分が張り出した円錐形の屋根は16世紀に加えられた。

14

Faubourg et Porte de France (à l'est)

フランス街とフランス門（東側）

二本の丸い塔が入口の側面に並ぶ。14世紀建築。1563年に改築され、1764年と1934年に修復された。



Hôtel International (Inter)

ホテル・アンターナショナル
(現・アンター)

アールヌーボー様式の美しい建物
(20世紀初頭)



16 Auguste Cuenin 2 / Villa Pfister

オーギュスト・キュナン通り2番地 / プフィスターの別荘
アレン (Allaine) 川とオーギュスト・キュナン通りの間にある広大な敷地の真ん中に建てられた大邸宅。19世紀末の典型的な混合様式建築。極彩色の壁はレンガと漆喰と木骨構造からできている。1990年から1991年にかけて修復。



17 Hôtel des Halles



中央市場

1766年から1769年にかけて大司教モンジョワのシモン・ニコラは、中央市場を旧館跡に再建した。城に招待客が泊まりきれない時に備え、三階には客室が用意されていた。1794年から1800年にかけてフランス国モンテリブル県の県庁所在地。現在は文化庁と州立図書館が入っている。1994年から1997年にかけて改築。

18 Hôtel de Ville

市庁舎

バロック式の優雅な建物で、町の中心に位置する。1761年から1764年にかけて、ピエール・フランソワ・パリがフランスと南ドイツで受けた影響を融合させ、建築した。



PORRENTROY

ポラントリー郊外 おすすめ観光地

→ Préhisto-Parc et Grottes de Réclère

レクレの先史時代公園と洞窟

Famille Gigandet / 2912 Réclère
Tél. +41 (0)32 476 61 55 / www.prehisto.ch



→ Les étangs et le Musée de la Poterie de Bonfol

ボンフォルの池と陶器博物館

Case postale 3 / 2944 Bonfol
Tél. +41 (0)79 646 93 90 / www.jura.ch/musees

植物相や動物相の多様性において、国家レベルで重要と見なされている。専門的な標識が設置された興味深い三行程は、散策者や自然を愛する人々にお勧め。

博物館は20世紀までの耐熱性陶器、瓦（かわら）、タイル、そして製造技術についての展示を行っている。

→ Musée agricole de l'Amicale des Vieilles Traditions à Grandfontaine

グランフォンテーヌ村「古き伝統友の会」農業博物館

2908 Grandfontaine / Tél. +41 (0)32 476 63 14 / www.vieilles-traditions.ch

博物館では、約20台のトラクターや1900年から1960年に農耕で使われた古い器具や機械を見学することができる。

→ Le Parc à bisons de Boncourt

ボンクルの野牛公園

Jura-Bison Sàrl / Case postale 134 / 2926 Boncourt
Tél. +41 (0)32 475 51 03 / www.jura-bison.com

